



湖北

微生物や細胞が持つ働きによって有用な物質を生産するバイオ技術を活用しようと、長浜市は4月27日、経産省近畿経済産業局が2月に創設した「輝くいのちのものづくり推進宣言」を行った。

長浜

長浜市がバイオ技術推進へ「全国拠点の一つに」

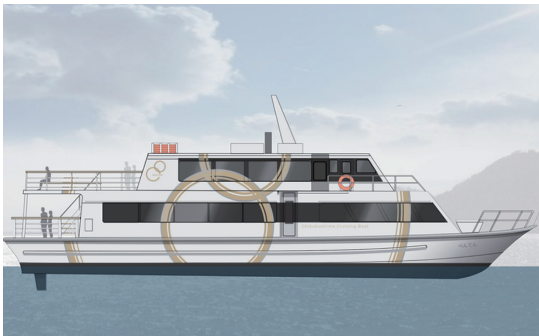
連企業との情報交流などを進めていく。市の宣言内容は、バイオものづくり産業基盤の整備▽地元企業とスタートアップの共創促進▽産学連携による人材育成の強化▽次世代バイオ・理系人材育成の4本柱からなっている。



【長浜通信部・長谷川隆広】

琵琶湖汽船が定期船を一新「べんてん」白一色に

長浜市の長浜港と竹生島を結ぶ琵琶湖汽船の定期船「べんてん」の外装が一新された。県観光キャンペーン「戦国デイスカバリ」滋賀・びわ湖やNHK大河ドラマ「豊臣兄弟」の放送に合わせてリニューアルした。



リニューアルされたべんてんのイラスト

築いた城下町・長浜とパワースポットとして名高い竹生島を35分で結ぶ。3月末に就航した。同社は「湖北の観光シーンを地域と共に盛り上げていく」としている。

湖東

彦根

滋賀大が命名権事業導入 校舎や体育館など33施設



は今年度、ネーミングライツ(命名権)事業を導入した。彦根キャンパス(彦根市馬場1)と大津キャンパス(大津市平津2)の計33施設を対象に募集。4月から彦根キャンパスで3社(滋賀銀行、古河AS、いろあわせ)との事業が始まった。

校舎棟第5講義室を「しがぎん未来よしホール」▽体育館を「FASアリーナ」▽写真▽研究棟1階ラウンジを「connect.ラウンジ」▽第2校舎棟ラーニングコモンズを「しがキャリアコモンズ」と命名。各施設には新名称のボードなどが掲げられている。引き続き残りの29施設で命名権を募集中。最低命名権料は20万〜100万円。

【彦根通信部・伊藤信司】

舟橋青年文学賞の作品募集 締め切りは9月1日



彦根市は第38回舟橋聖一顕彰青年文学賞の作品を全国から募集している。故・舟橋聖一氏の写真・市ホームページよりIIは幕末の大老、井伊直弼を題材にした小説「花の生涯」を執筆し、出身地の彦根市に注目が集まった。その功績により彦根市名誉市民第1号となった。青少年の文学振興のため、1989年度にその名を冠した文学賞を設けた。応募資格は13〜30歳(9月1日時点)。ジャンルは小説、随筆、戯曲、評論。4000字詰め原稿用紙50枚以内で縦書きとする。ワープロ原稿の場合はA4用紙に縦書き(40字×25行)で印字する。自作未発表の作品に限る。賞金は15万円。選考委員は作家の佐藤洋二郎氏、藤沢周氏、増田みづ子氏と文芸評論家の富岡幸一郎氏。郵送やウェブで応募できる。締め切りは9月1日(当日消印有効)。問い合わせは彦根市立図書館(0749・22・0649)。

【彦根通信部・伊藤信司】